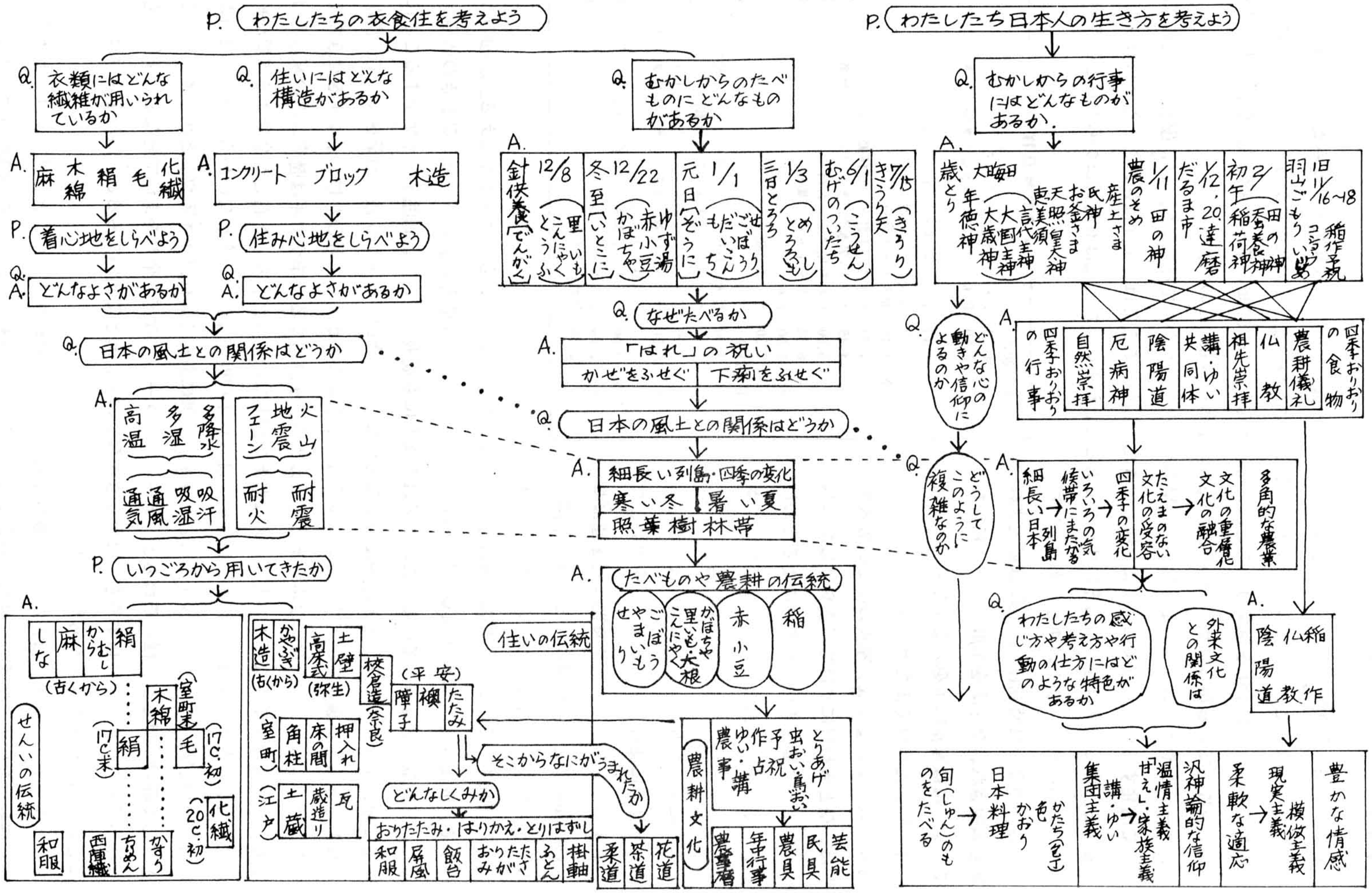
(1) 衣食住と日本の風土

(2) 日本人の生き方と日本の風土


P. わたしたちの衣食住を考えよう
Q. 衣類にはどんな繊維が用いられているか
A. 麻 木綿 絹 毛 化繊
P. 着心地をしらべよう
Q. A. どんなよさがあるか
Q. 住いにはどんな構造があるか
A. コンクリート ブロック 木造
P. 住み心地をしらべよう
Q. A. どんなよさがあるか
Q. 日本の風土との関係はどうか
A. 高温 多湿 多降水
通気 通風 吸湿 吸汗
フェーン 地震 火山
耐火 耐震
P. いつごろから用いてきたか
A.
しな 麻 からむし 絹
(古くから)
木綿 (室町末)
(17C.末) 絹
毛 (17C.初)
化繊 (20C.初)
せんいの伝統
和服 西陣織 ちりめん かすり
木造 かやぶき (古から)
高床式 土壁 (弥生)
校倉造 (奈良)
(平安) 障子 襖 たたみ
(室町) 角柱 床の間 押入れ
(江戸) 土蔵 蔵造り 瓦
住いの伝統
そこからなにがうまれたか
どんなしくみか
おりたたみ・はりかえ・とりはずし
和服 屏風 飯台 おりたたみがさ ふとん 掛軸
柔道 茶道 花道
Q. むかしからのたべものにどんなものがあるか
A.
針供養 12/8 (でんがく) (里いも こんにゃく とうふ)
冬至 12/22 (いとこに) (かぼちゃ 赤小豆 ゆず湯)
元日 1/1 (ぞうに) (ごぼう だいこん もち 世)
三日とろろ 1/3 (めし とろろ)
むけのついたち 6/1 (こうせん)
きうり天 7/15 (きうり)
Q. なぜたべるか
A. 「はれ」の祝い
かぜをふせぐ 下痢をふせぐ
Q. 日本の風土との関係はどうか
A. 細長い列島・四季の変化
寒い冬 暑い夏
照葉樹林帯
A. たべものや農耕の伝統
ごぼう やまいも せり
かぼちゃ 里いも・大根 こんにゃく
赤小豆
稲
農耕文化
とりあげ 虫おい・鳥おい 予祝 作占 ゆい・講 農事
農事暦 年中行事 農具 民具 芸能
P. わたしたち日本人の生き方を考えよう
Q. むかしからの行事にはどんなものがあるか.
A.
歳とり 大晦日 年徳神 (大歳神 大国主神 言代主神) 恵美須 天照皇大神 お釜さま 氏神 産土さま
農のそめ 1/11 田の神
だるま市 1/12, 20 達磨
初午 2/ 稲荷神 養蚕神 田の神
羽山ごもり 旧11/16~18 稲作予祝 コミュニティ
Q. どんな心の動きや信仰によるのか
A. 四季おりおりの行事
自然崇拝 厄病神 陰陽道 共同体 講・ゆい 祖先崇拝 仏教 農耕儀礼
四季おりおりの食物
Q. どうしてこのように複雑なのか
A. 細長い日本列島 → いろいろの気候帯にまたがる → 四季の変化
たえまのない文化の受容 → 文化の重層化 文化の融合
多角的な農業
Q. わたしたちの感じ方や考え方や行動の仕方にはどのような特色があるか
外来文化との関係は
A. 陰陽道 仏教 稲作
旬(しゅん)のものをたべる → 日本料理 かたち(包丁) 色 かおり
集団主義 講・ゆい → 温情主義 「甘え」・家族主義
汎神論的な信仰
柔軟な適応 → 現実主義 模倣主義
豊かな情感